

学校図書館の効果的な活用に向けて

平成27年1月13日 日高教育局

学校図書館の効果的な活用や魅力ある学校図書館づくりなどを目的とした学校図書館活性化事業を1月13日（火）に北海道静内高等学校を会場に開催しました。

管内の各町から学校関係者や公立図書館職員など16名が参加し、子どもにとって一番身近な図書館である学校図書館の一層の充実について、講話や実践発表、ワークショップ等を通じて、学校図書館の一層の活性化について研修を深めました。

【講話】今、求められている学校図書館

全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー 野村 邦重 氏

○読書は子どもたちを育てる力がある。例えば、

- ①世界を知る力②人間を知る力③人生を変える力
- ④自分を知る力⑤想像する力 などである。

○読書によって、子どもたちは「情緒」や「人間の機微」を知り、日常生活等における表現力が高まる。表現力が高まれば、相手の気持ちがわかったり、物事を筋道立てて考えることができる。

○読書によって、子どもたちは授業に集中し、自ら学び、考えたりすることが、自信へとつながっていく。

○朝読書は、問題行動が多く見られた高校で始まった。朝読書によって、学校全体が落ち着いた雰囲気になったため、その後、全国的に広がった。

○朝読書の4原則は、①みんなで、②毎日、③好きな本を読む、④ただ読むであり、子どもたちの身近に本を置くなど全校で取り組む必要がある。

○学校図書館は学校の心臓部で、学校教育に欠かせない基礎的な設備であり、「学習センター」「情報センター」等の機能を有し、教科学習に役立つことが求められている。

○言語能力の育成には「読書活動」が不可欠で、学校図書館を利用して、子どもたちの情報活用能力を育むとともに、「朝読・家読」等の推進が求められている。

○学校司書は、子どもたちの学びの意欲を高め、情報活用能力を育むとともに、教科学習を教師と共に創る役割がある。

○学校司書は、常に図書館を開き、読書環境を整え、ボランティアとも連携し、子どもたちの居場所づくりに努めることが求められている。



【ワークショップ】 魅力ある学校図書館の運営について

北海道立図書館総務企画部企画支援課長 吉原 和夏子 氏

○図書館は書棚の「見た目」に気をつけ、子どもたちに本を手にしてもらう工夫が必要である。

○内容が古い本、日に焼けた本、情報が更新されていない本を「除架」すると、子どもたちにとって図書館が魅力ある場所になっていく。



＜ワークショップの様子＞

参加者は6つのグループに分かれ、本の内容や発行年を点検し、背表紙に付箋を貼るなど、除架の基本となる作業を行った。

＜グループ毎の発表＞

グループの代表者から、次のような発表があった。

- ・日高の馬に関する資料は、情報が更新されていなくても残しておいた方がよい。
- ・同じ本が3冊ずつあれば、2冊ずつにした方がよい。

こんな状況はありませんか？



西ドイツやザイールが今もあると思われると困るなあ…

そのままにせず、思い切って廃棄するか、歴史的資料としての活用を！



背表紙が日に焼けて、読みにくくなってる…

カバーを取って、日焼けしていない背表紙を出しましょう！



同じ本が5冊もある…

1冊だけにして、空いたスペースに表紙を見せるように置いてはいかが！



子どもの手が届きにくい上段にも本がある…

上段には本を置かないようにして、ディスプレイを工夫しましょう！

【事例発表】 高校の図書館における実践について

北海道富川高等学校図書指導員 野澤 みゆき 氏

○平成14年に指導員として赴任して以来、古い本の片付け、電灯の取り替え、テーブルクロスやカーテンの新調など、生徒が入りやすい図書館に改造してきた。



○「人のいる図書館」を目指し、図書館が温かい雰囲気や、明るく、安心な「憩いの場」になるよう努めてきた。

○国語教諭と連携し、授業で図書館の利用の仕方を教えたり、本の紹介をしたり、生徒向けに絵本の読み聞かせも行ったりした。

○生徒達とテストや資格試験の勉強を行うなど、図書館が「学びの場」になるように気を配ってきた。



○この取組の結果、1日平均50人～60人の生徒が図書館を訪れるようになった。(全校生徒は約100名)

○「絵本セラピスト」の資格を取得し、生徒や教職員を対象に「絵本セラピー」を行い、絵本を介して生徒達の自己肯定感を高める工夫もしてきた。

【参加者の感想】

児童生徒が図書館に足を運びきっかけづくりが必要で、そのため除架の工夫が勉強になった。参考にしたい。

どんな本を購入したり、除架したらよいか悩んでいたのが、自分の学校の図書館運営の参考になった。

図書館は、常に人がいるという雰囲気や安心感が大切だと思った。学んだことを明日から実践していきたいと思った。

図書の用語や分類の仕方、本の選び方の講義があるとよかった。また、様々な地域の取組について意見交換がしたかった。

